



# 小学生バドミントン通信

NO.19 2019.07

発行：日本小学生バドミントン連盟 会長 黒川 茂

## 優勝する為に出来る事

Dream.Jr (男子の部) 福島 康宏

まず先日の地震、豪雨の被害に遭われた地域の皆様にお見舞い申し上げます。また、西山公園体育館も被害に遭われ若葉カップ直前まで改修工事をしていたとお聞きしました。大会開催にご尽力くださった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

我がDream.Jrはこの6年間で、優勝1回、準優勝2回、3位2回の成績を上げていますが、入賞に至るまでの厳しい条件が幾つもあると感じています。その条件が決して選手の実力だけではなく、団体戦特有の戦略、勢い、運、対戦相手との相性…等いろんな事がすべて上手く行った時に頂点に立てるのだと実感しています。

実際、今年のチームにはナショナル選手や全国〇位という肩書きの選手はおらず、私の本心では「予選リーグ抜ければ良し」の程度に考えていました。

今年の子選リーグには関東の強豪“桜川ジュニア”がいましたし、決勝トーナメントに上がっても5年ダブルス全国1位がいる“宝木塚ジュニア”と対戦する組合せになっていました。

しかしながら、選手の頑張りやコーチ陣の苦悩の戦略(オーダー)によって、これらの強豪チームに辛勝する度にチームに勢いがつき、あれよあれよと言う間に決勝戦に登り詰めていました。決勝戦の相手は、大方の予想通り前年度の優勝チーム“岡垣ジュニア”でした。

岡垣ジュニアの選手の実力は高く、6年斉藤君、5年川野君をはじめすべての選手が高度な技を巧みに操り自信に満ち溢れ、決勝トーナメントの試合を見て到底太刀打ちできない…と感じていました。

しかし、こちらは挑戦者の立場。ダメで元々、チャレンジングなオーダーを組む事にしました。『勝ち』を取

りに行くにはこれしかなかったオーダーは、当たったと言って良いでしょう。強豪“岡垣ジュニア”と五分五分の試合にもっていく事が出来たのです。

ギリギリの試合ばかりの中で、わずかに勝利の女神がこちらに微笑みだしたのは、チームの勢いに差があったのではないかと思います。

勝つべくして勝ち上がってきた岡垣ジュニアの想像を絶するプレッシャー。一方、負けを覚悟しながらも当たって砕けろ精神で接戦をモノにしてきたDream.Jr。

決勝戦では、選手一人一人が実力以上の力を発揮してくれました。正直、これほどのパワーを秘めた選手たちだったのか…と驚いたほどです。胴上げの後、私は選手に「優勝できるなんて夢にも思っていなかった」と告げました。すると選手たちは「試合する前から諦めるな!って監督がいつも僕たちに言ってるでしょ!!」この言葉で気付かされました。不可能は無い、と。

もし来年も出場する事が出来たなら、前年度優勝チームとしてではなくチャレンジャーの立場で、あの【聖地】に戻って来たいと思います。

若葉カップは、本当に厳しく恐ろしく、想像をはるかに超える戦場です。しかしそれ以上に、成長と感動を与えてくれる素晴らしい学びのコートでもあるのです!





## 平成30年度の大会記録



### 第34回若葉カップ全国小学生バドミントン大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟・長岡京市)

平成30年7月27日～30日／京都府長岡京市・西山公園体育館

#### 【男子の部】

- 優勝 Dream.Jr (福井県)・・・2回目
- 2位 岡垣ジュニア (福岡県)
- 3位 仰木の里ジュニア (滋賀県)
- 長岡京市スポ少 (京都府)

#### 【女子の部】

- 優勝 小平ジュニア (東京都)・・・2回目
- 2位 瓜破西SSC (大阪府)
- 3位 師勝ジュニア (愛知県)
- 長岡京市スポ少 (京都府)

## 『明らめる』こと『諦めない』こと

小平ジュニア監督 城戸友行

垂涎のコーチ陣・トレーナー・栄養士からのサポートや保護者からの助力。恵まれた環境だからこそ逆に選手達の「ハングリーさ」の不足を感じてきたこの一年。特に6年は昨年の準優勝の「悔しさ」を今年の若葉にぶつけられるのか？合宿でも離脱者が相次ぎ、そんなふうに諦めかけていました。自分の「弱み」を補える「強み」も認識して欲しかったので、選手には常に「考える」ことを要求し、ゲーム後もまずは自身の「振り返り」からさせましたが、それも一朝一夕にはいきません。

そんな女子チームが都予選を下級生の頑張りで突破、男子も本選を決め久々のアベック出場でした。とはいえ男女とも全国優勝には力不足。精一杯闘いましたが、決勝トーナメント初戦で男子は力尽きました。女子だけでも上位進出をと思いましたが、予選リーグから既に苦戦の連続。ただその辛勝には6年シングルの踏ん張りも含まれていたのです。まだまだでも最上級生を信じるしかないと感じ始めていました。続く志木Jr.戦は隣県で戦力もわかっており分の悪い勝負でした。ところが変身の兆しの見えてきた6年が今度はダブルスで躍動、練習試合でも殆ど勝利したことのない相手を下したのです。活気づいたチームは勢いそのままに次々と強敵を破り頂点まで上り詰めたのです。

会場に足を運んでくださった増田先生、藤田先生、ベンチで共に闘った神尾コーチにも助けられながらの優勝でしたが、正に「薄氷を踏む思い」の連続、どの試合もオーダーを出す僅かな時間に考え抜いての総力戦、選手もスタッフも死力を尽くしての勝利でした。

まだまだ力不足でも来年のために有意義なベンチ入りになると連れてきた二人。声をからして応援してくれました。

まだまだちっちゃくて経験不足だと思っていた3年生。

大切な決勝戦でポイントをあげてくれました。

まだまだ心の強さが足らず時にイライラを隠せなくなる4年生エース。若葉での成長がチームを支えました。

まだまだ6年生と闘うには課題山積の5年生エース。彼女が相手6年生エースを倒さなければ今回の優勝はありませんでした。

まだまだ技量も足らず羽根を追うことだけが取り柄の5年生ダブルス。その懸命さがチームに勢いを与えました。

そして、一番まだまだだと思っていた6年生トリオ。頼りなげなキャプテンも、覇気の見えないシングルスも、怪我に悩んだダブルスも、それぞれが課題を克服してくれたのです。

「諦める(断念する)」という言葉は「明らめる(はっきりさせる)」が語源だと言われています。「まだまだ」と言われる彼女達の様々な「今」を「明らめた」上で「先」を「諦めずに」取り組んできたことを本当に良かったと思っています。選手達はこの感激を忘れず、全ての方々への『感謝』を胸に、今後の大会に向け更に挑戦し続けていきましょう。どんな選手も抱える『弱み』を『明らめた』上で、それを克服し『強み』に変える可能性を『諦めず』に…。

最後に、子供達に成長の機会を与えてくれるこうした素晴らしい大会を毎年開催いただいている大会関係者の皆様には感謝の言葉しかありません。本当に有り難うございます。



# 第19回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟・八代市)

平成30年8月10日～12日／熊本県八代市 八代市総合体育館 ほか

## 【男子Aクラス(5・6年生)】

優勝 齊藤 礼 (福岡県)  
2位 松川 健大 (神奈川県)  
3位 澤田 修志 (北北海道)  
稲川蓮二郎 (新潟県)

## 【女子Aクラス(5・6年生)】

優勝 横内 美音 (山梨県)  
2位 樋口 吹羽 (徳島県)  
3位 玉木 亜弥 (東京都)  
平本梨々菜 (岐阜県)

## 【男子Bクラス(3・4年生)】

優勝 田上 幹太 (熊本県)  
2位 山城 政人 (新潟県)  
3位 齊藤 優楽 (宮城県)  
増田 遥 (兵庫県)

## 【女子Bクラス(3・4年生)】

優勝 溝尾 花奈 (北海道)  
2位 西川 楓 (京都府)  
3位 橋村 妃翔 (東京都)  
鈴木 彩乃 (茨城県)

## 【男子Cクラス(1・2年生)】

優勝 篠原 康輔 (愛媛県)  
2位 高橋 勇弥 (北海道)  
3位 小川 真輝 (広島県)  
石原 達希 (鹿児島県)

## 【女子Cクラス(1・2年生)】

優勝 板橋 ゆい (宮城県)  
2位 沖本 愛音 (広島県)  
3位 鈴木 梨央 (滋賀県)  
畠山 来夢 (岩手県)



# 第27回全国小学生バドミントン選手権大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟)

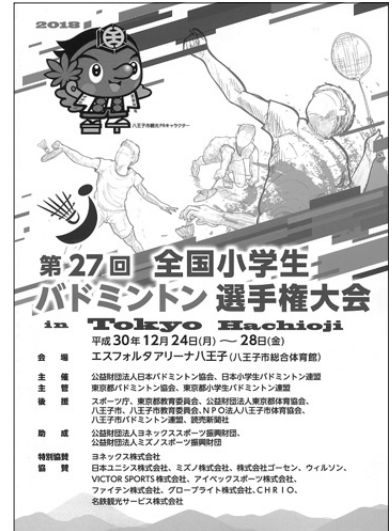
平成30年12月24日～28日／東京都八王子市 エスフォルタアリーナ八王子

## 【都道府県対抗団体戦：男子の部】

優勝 神奈川県 松川 健大・高橋 和希・三浦 大地  
(2回目) 江口 幸輝・石若 泰智・根本 舜生  
2位 福岡県  
3位 広島県・栃木県  
5位 福井県・愛知県・静岡県・滋賀県

## 【都道府県対抗団体戦：女子の部】

優勝 千葉県 砂川 温香・吉田 明永・保谷 芽依  
(3回目) 鈴木あいり・中野 真里・白川 菜結  
2位 大阪府  
3位 茨城県・東京都A  
5位 新潟県・徳島県・栃木県・埼玉県



## 【6年生男子シングルス】

優勝 松川 健大 (神奈川県・青葉ジュニア)  
2位 三浦 大地 (神奈川県・青葉ジュニア)  
3位 津川 祐太 (北海道・札幌BEANS)  
高木慎二郎 (岐阜県・垂井JSC)

## 【5年生男子ダブルス】

優勝 根本舜生・岡部 翔 (神奈川県・綾瀬ジュニア)  
2位 祇園田隼人・中原秀駿 (熊本県・北部ジュニア)  
3位 安田 翔・前田寛仁 (香川県・前田スクール)  
宮崎直也・安達琉偉 (熊本県・おくにジュニア)

## 【4年生以下女子シングルス】

優勝 大石 夢陽 (福岡県・山家ウイングス)  
2位 溝尾 花奈 (北海道・日高地区少年団)  
3位 橋村 妃翔 (東京都・小平ジュニア)  
畠山 想来 (岩手県・ハイタッチジュニア)

## 【5年生男子シングルス】

優勝 澤田 修志 (北海道・帯広ジュニア)  
2位 木根 知哉 (京都府・長岡京市スポ少)  
3位 遠藤 淳生 (広島県・美鈴が丘JBC)  
長東 翔太 (愛知県・大里東スポ少)

## 【4年生以下男子ダブルス】

優勝 鈴木大翔・中村陸人 (茨城県・桜川Jr)  
2位 渡邊悠至・下川瑞久 (東京都・青梅ジュニア)  
3位 城戸友翔・和川龍也 (東京都・小平ジュニア)  
藤川煌士・田阪春馬 (香川県・国分寺スポ少)

## 【6年生女子ダブルス】

優勝 吉田明永・保谷芽依 (千葉県・市原ジュニア)  
2位 青木優羽・平田 涼 (茨城県・桜川Jr)  
3位 鈴木あいり・中野真里 (千葉県・鎌谷ジュニア)  
春木柚奈・住田菜々子 (福岡県・岡垣ジュニア)

## 【4年生以下男子シングルス】

優勝 山城 政人 (新潟県・佐渡ジュニア)  
2位 田上 幹太 (熊本県・TTBC)  
3位 齊藤 優楽 (宮城県・仙台大和ジュニア)  
山脇 弘奨 (愛知県・はりーあっぷ)

## 【6年生女子シングルス】

優勝 樋口 吹羽 (徳島県・藍住エンジェル)  
2位 砂川 温香 (千葉県・流山ジュニア)  
3位 横内 美音 (山梨県・甲府ジュニア)  
宮崎 友花 (大阪府・瓜破西SSC)

## 【5年生女子ダブルス】

優勝 戸上 凜・石井 空 (岡山県・PEACEジュニア)  
2位 生井穂乃果・草間 結 (茨城県・西豊田クラブ)  
3位 榮代結子・本田乙葉 (石川県・美川ジュニア)  
伊藤菜央加・岡本 芽 (愛知県・師勝ジュニア)

## 【6年生男子ダブルス】

優勝 森 蒼介・大森愛叶 (愛媛県・久谷BSS)  
2位 野村雅人・田中陽悠 (福井県・大野ジュニア)  
3位 有江琥珀・大熊辰弥 (埼玉県・久喜ABC)  
坂本安樹・櫻井慎大 (栃木県・宇都宮JB)

## 【5年生女子シングルス】

優勝 東谷 悠妃 (北海道・忠和クラブ)  
2位 阿部 果凜 (埼玉県・志木ジュニア)  
3位 山田松菜乃 (福岡県・岡垣ジュニア)  
山口 菜菜 (石川県・大徳ジュニア)

## 【4年生以下女子ダブルス】

優勝 懸明日香・藤井 詩 (愛知県・はりーあっぷ)  
2位 工藤 葵・工藤和奏 (長崎県・矢上クラブ)  
3位 曾我部袖羽・篠原多輝 (愛媛県・中萩JBC)  
山北莉緒・長谷川葉月 (埼玉県・鶴ヶ島Angels)





# 全国小学生バドミントン選手権

6年男子シングルス優勝

神奈川県 青葉ジュニア 松川 健大



僕は、小学生最後の全国大会で優勝する事が出来ました。

去年の全国小学生大会と今年の全国ABC大会では、ライバルに負けて悔しい思いをした分、それからの練習やトレーニングなどをしっかり取り組ん

だ分、嬉しい優勝となりました。

9回の全国大会出場を経験していますが、その中でも2年時の全国ABC大会で今まで一度も勝てなかった相手に勝つ事が出来た事と、6年時の全国小学生大会で優勝した事が一番印象に残っています。

僕は年中からバドミントンを始めましたが、他県にしっかり打てる選手がいて、何度もオープン大会で対戦しましたが、一度も勝った事がなく目標とする選手でした。

全国ABC大会準決勝で対戦する事になり、初めて勝つ事が出来て嬉しかった事を覚えています。

そして、そのまま優勝出来て良かったのですが、そこから追われる立場のバドミントン生活が始まりました。

練習試合や県大会でも絶対に負けられないプレッシャーが、練習よりも一番辛かったです。

今までを振り返ると僕には、ライバルという存在が常にいて、その選手に勝ちたい、その選手に負けない様に練習して来ました。

6年時の全国小学生大会は、4回も全国大会決勝戦で対戦した選手との対戦を望んでいましたが、実際には同県同チームの選手との対戦でした。

少しやり難い部分もありましたが、何としてでも勝ちたいという気持ちで試合をしました。

小学生最後の大会で優勝する事が出来て、今まで指導してくれた方々に感謝の気持ちで一杯です。

これからも努力を続けて、結果で恩返しができる様に頑張りたいと思います。

6年女子シングルス優勝

徳島県 藍住エンジェル 樋口 吹羽



私は、小学生最後の全国小学生バドミントン選手権大会で優勝し、チームの先輩である松友美佐紀選手と同じ3連覇を達成する事が出来てとても嬉しかったです。

私が、初めて全国大会に出場したのは、1年生

の時の全国小学生ABC大会でした。全国小学生ABC大会には、1年生から6年生まで毎年出場する事が出来ました。また、全国小学生バドミントン選手権大会には、3年生から6年生まで出場する事が出来ました。合計10回出場した全国大会では、試合に勝つ喜びと試合で負ける悔しさの両方を経験しました。

敗戦をきっかけに一生懸命に練習をするのはもちろんの事、考えてプレーする力を身に付けようと努力しました。空いている時間があれば、お手本となる選手の試合を時間が過ぎるのを忘れるぐらい見ました。見るだけでは無く、勉強になるプレーを色々と真似て、試したりもしました。また、4才から始めたバドミントンですが、始めた頃の「バドミントンが大好き」という気持ちを常に忘れないよう、楽しくプレーする事も心掛けました。その結果、目標としていた全国小学生バドミントン選手権大会での3連覇が達成出来たのではないかと思います。

もちろん、私の力や努力だけで結果が出たのでは無いという事も忘れてはいけないと思います。このような結果を残す事が出来たのは、監督、コーチの熱心なご指導と、チームメイトや保護者の方々、家族の支えもあったからだと思います。周りの方々から、たくさんのサポートをして頂き、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも今まで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、大好きなバドミントンを頑張っていきたいです。そして、将来はオリンピックに出場し、金メダルを取る事でお世話になった方々へ恩返しをしたいと思っています。



# 2018年日本小学生バドミントン連盟 強化部の事業報告

## 中日U-11青少年交流会

期 日 平成31年3月11日～17日  
 場 所 中国・上海市  
 監 督 芝田由紀恵(栃木県・日本バドミントン協会ジュニア強化部員)  
 コーチ 永井 大吉(岡山県・日本小学生バドミントン連盟強化部員)  
 選 手 長東翔太(愛知県)・木根知哉(京都府)・澤田修志(北北海道)・田上幹太(熊本県)・山城政人(新潟県)  
 山口菜菜(石川県)・阿部果凜(埼玉県)・東谷悠妃(北北海道)・溝尾花奈(北海id道)・大石夢陽(福岡県)



12日から16日まではリーグ戦での個人戦が行われた。

男子シングルスでは、5年の澤田選手、木根選手、長東選手が1位、2位、3位を独占した。全勝対決の澤田選手と木根選手の試合は澤田選手が17本、11本と安定した試合で勝利した。

4年生の山城選手は予選で中国1位の選手と試合をし、相手の強打をつなぎなんとか粘るもファイナル19本で敗退し3位に終わりました。

女子は東谷選手がしっかりとラリーをし球ぎわで粘りラリーをしますが、相手のスピード、パワーになかなかついていけず敗退し3位入賞しました。

4年生は大石選手が地元の上海1位の選手と対戦し会場が盛り上がる中、持ち味の粘り、球回しが良かったのですがファイナル22-24の接戦で敗退しました。

溝尾選手は予選を勝ち抜き3位決定戦は集中力がきれてしまい、おしくも4位入賞でした。

最終日の団体戦は日本チームの人数の関係で女子選手が兼ねることになり、3複4単の形式で行われた。

1番手の東谷選手は個人戦で優勝し、1度簡単に負けていた相手にファイナル19本まで粘りますが、最後はスピードを上げられ敗退しました。

2番手の山城選手は集中力が欠け、力を出せずに敗退、3番手の溝尾選手、大石選手のダブルスもファイナル終盤

まで粘るも惜しくも敗退し、0-3とあとがなくなります。

4番手の澤田選手が1つ下の中国チャンピオンの選手としますが、緊張のせいか日本では見たことのないミスを連発し大量リードされますが、なんとか追いつき逆転で勝利しました。

5番手の男子ダブルスの木根選手、長東選手、女子ダブルスの山口選手、阿部選手は両方ともにファイナル終盤までいきますが、惜しくも敗退しました。

1-5となった最後は溝尾選手が上海1位の選手にファイナルで勝ち2-5で団体戦を終えました。

今大会を振り返り、個人戦よりも団体戦のほうが良い戦い方ができ、勝負ができていた。

男子選手に関しては、スピード、テクニックは日本の選手が勝っていたように感じた。

女子選手は、パワー、スピードが劣り押される場面がよく目についた。

特に終盤になってからスピードを上げられるとミスを連発し惜しくも負ける試合が目立った。競った場面での間の取り方や、配球の仕方、気持ちをだすといったことが必要と感じた。

日本の小学生もこういった海外での経験をもっと積極的につみ全国ではなく、ジュニアの世代から世界を目指して欲しいです。





## 平成30年度の専門部事業

### ■ 選手強化部

#### 1) 平成30年度日本小学生バドミントン連盟 強化合宿

- ① 平成30年度第6回U-13選抜強化合宿  
..... 7月30日～8月2日／京都府長岡京市 西山公園体育館
- ② 第17回日小連強化合宿..... 8月12日～15日／熊本県八代市 八代市総合体育館

#### 2) 平成30年度日本小学生連盟ブロック普及事業(補助金交付)

#### 3) 平成30年度日本協会 選手強化本部等事業

- ① 2018年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 ..... 5月17日～23日／NTC
- ② 2018年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 ..... 6月12日～18日／NTC
- ③ 2018年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 ..... 12月14日～18日／NTC
- ④ 2019年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 選考合宿 ..... 2月4日～2月7日／NTC
- ⑤ アストロマレーシアキャンプ ..... 8月27日～9月2日／マレーシア・クアラルンプール市
- ⑥ 中日U-11青少年交流会 ..... 3月11日～17日／上海市
- ⑦ 3か国ジュニアバドミントン交流会(ダイハツ協賛) ..... 3月23日～24日／NTC

### ■ 指導育成部

#### 1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)

- ① 6月10日 新潟県小学生バドミントン連盟(阿賀野市ささかみ体育館)
- ② 9月15日 福島県小学生バドミントン連盟(白河市中央体育館)
- ③ 9月30日 佐賀県バドミントン協会小学生部会(玄海町社会体育館)
- ④ 11月3・4日 北海道小学生バドミントン連盟(深川市総合体育館)
- ⑤ 11月23・24日 九州小学生バドミントン連盟(武雄市市総合体育館)
- ⑥ 12月2日 富山県小学生バドミントン連盟(富山県総合体育センター)
- ⑦ 1月27日 香川県小学生バドミントン連盟(高松市牟礼総合体育館)
- ⑧ 2月2日 広島県小学生バドミントン連盟(福山市久松台小学校体育館)
- ⑨ 2月24日 熊本県バドミントン協会小学生部会(八代市総合体育館)
- ⑩ 3月10日 千葉県小学生バドミントン連盟(柏市中央体育館)

#### 2) 平成30年度特別指導者講習会 指導者講習会

平成30年7月22日 NTC 指導者13名

### ■ 医科学研究部

#### 1) スポーツ医科学講義の実施

指導育成部の実施する指導者講習会(巡回指導)とタイアップした形で平成30年度は5回の講義を実施した。

- ① 6月10日 新潟県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ② 10月8日 香川県小学生バドミントン連盟講習会 担当 片田啓太郎(トレーナー)
- ③ 10月28日 愛知県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ④ 3月10日 千葉県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ⑤ 3月24日 熊本県バドミントン協会小学部講習会 担当 北山吉明(医師)

#### 2) スポーツ歯科研究

「小学生バドミントン選手の咬合機能とパフォーマンス」 担当：坂東陽月(歯科医)、高橋睦(歯科医)  
第27回全国小学生バドミントン選手権大会にて測定 12月25～26日 東京都

#### 3) 小学生スポーツ障害110番

今年度は1件の相談(精神的発達障害について)あり





## 令和元年度の事業計画

5月25日、味の素ナショナルトレーニングセンターにおいて開催された定期総会において令和元年度の事業計画及び予算が承認されました。総会には会長をはじめとする理事・都道府県代議員あわせて46名が出席しました。

### ■ 主催大会の開催

- 1) 第35回若葉カップ全国小学生バドミントン大会(京都府長岡京市) …………… 7月20日～23日
- 2) 第20回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会(熊本県八代市) …………… 8月11日～13日
- 3) 第28回全国小学生バドミントン選手権大会(徳島県鳴門市) ……………12月21日～25日

【2年度大会開催予定】「第36回若葉カップ」京都府長岡京市 「第21回ABC大会」熊本県八代市  
「第29回全小大会」岐阜県岐阜市

### ■ 選手強化部

#### 1) 令和元年度日本小学生バドミントン連盟強化合宿

- ① 第7回U-13選抜強化合宿(日バと共催) …… 7月23日～26日/西山公園体育館(京都府長岡京市)
- ② 第8回選抜強化合宿 …………… 8月13日～16日/八代市総合体育館(熊本県八代市)
- ③ 海外遠征 …………… 未定
- ④ ブロック普及事業(強化合宿等)への補助金交付 …………… 普及事業は各ブロックで計画・実施

各ブロック連盟が実施する合宿などの普及・強化事業に対して日本小学生バドミントン連盟が補助金を交付するもので、平成19年度から始まった事業です。補助金は選手個人登録者数に応じて決定しています。平成20年度から賛助金の50%を上乗せし、基準単価は平成30年度に改定しています。

#### 2) 令和元年度日本協会 選手強化本部ジュニア強化部事業(予定)

- ① ジュニアナショナルチーム(U-13)強化合宿 5月16日～22日 NTC  
(U-13)強化合宿 6月15日～21日 NTC  
(U-13)選考合宿 9月14日～20日 NTC  
(U-13)強化合宿 11月25日～12月1日 NTC
- ② 海外遠征 未定

### ■ 指導育成部

#### 1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)

令和元年度の開催は15～20カ所を予定

### ■ 医科学研究部

#### 1) スポーツ医科学普及指導活動

- ① 指導普及部と協力して、全国都道府県の指導者および保護者に対して巡回指導(実技及び講義)を実施する。
- ② 本年度実施回数は6回を予定している。
- ③ 講義内容は医科学全般を対象とするが、希望のあった項目を優先する。内容としてはスポーツ医学、スポーツ障害学、栄養学、バイオメカニクス、トレーニング理論と実際、スポーツ歯科、スポーツと脳、メンタルトレーニング、トレーナーによるコンディショニング、などである。
- ④ 依頼を頂いた都道府県に出向し、指導する。なお今年度より、申し込み用紙が従来の指導普及部との併用ではなく、医科学研究部単独申込用紙となりましたので、それを使用してください。

#### 2) 医科学研究活動

スポーツ歯科研究を今年度も継続して実施する。

発育期にあるジュニアバドミントン選手の口腔内調査を通して、スポーツ活動に必要な歯科的問題を掘り起こし、より高いパフォーマンスにつながる、歯のメンテナンスなどについて研究する。咬合力とスポーツ能力の関連についてさらに研究を進める。

#### 3) 小学生バドミントンプレイヤーの外傷・障害に関する調査

今年度からの新しい調査研究課題として、小学生バドミントンプレイヤーに発生するスポーツ外傷及び障害の調査を行う。バドミントンに的を絞ったこの種の調査・研究は未だ見当たらない。医科学研究部では、この研究をもとに外傷や障害の予防につなげる方策を模索していく。調査方法として各県の小学生バドミントン連盟を通して、ジュニアクラブのクラブ員と保護者にアンケート調査を依頼し、これを統計的に処理し、検討を加える予定である。

#### 4) 小学生のスポーツ障害110番の開設

日本小学生バドミントン連盟に所属する小学生の指導者で、対処に困っているスポーツ障害やその他、発育や食事等の医科学的疑問について、下記のメールアドレスに質問をいただければ、医科学研究部員が回答を返信します。

メールアドレス: sp7e26q9@rice.ocn.ne.jp 医科学研究部 北山 吉明

### ■ その他

#### 1) 広報活動

- ① 賛助会会報『小学生バドミントン通信 第19号』の発行
- ② インターネット 公式サイトの管理運営
- ③ ポスターの作成、ライブ配信

## 平成30年度の賛助会員としてご協力をいただいた皆さんです。

皆さんからいただいた賛助金は、日本小学生連盟の運営や各ブロックで実施する普及・強化事業への補助などに使わせていただきます。

(敬称略)

【北海道】田仁バド/清水新得ジュニア/芽室町少年団/北栄JBC(2口)/北見市少年団/豊住少年団/網走ジュニア少年団/紋別少年団/下野和義/日比野正人/熊谷敏夫/松原卓也/登別スポ少/高台少年団/斜里ジュニア/水元地区スポ少/港南飛翔Jr/伊達市スポ少/東光小少年団/旭川愛宕東少年団/遠軽少年団/大滝パーデーズジュニア/高砂小同好会/東ジュニア/栗山小学校/帯広栄少年団/池田少年団/豊成JBC/丸瀬布少年団 【青森県】青森県小学生連盟(3口) 【山形県】山形県小学生連盟(10口)/遠藤宏一 【埼玉県】シャトラーズスポ少/能登則夫(3口)/イーストフレンズスポ少/出羽ジュニア/上尾ジュニア/蓮田サウスシャトラーズ/志木ジュニア/磯井貞夫/川口朝日(2口)/チャレンジャー/鶴ヶ島Angels/埼玉県小学生連盟(2口)/鳩ヶ谷ウイングス/春日部白翔/三郷ダックスジュニア 【千葉県】小山義夫(1万円) 【東京都】上田敏之 【神奈川県】大清水スポ少/神奈川県小学生連盟(5口)/浅見勇(1万円) 【富山県】堀川南ジュニア(2口) 【石川県】北山吉明(1万円) 【静岡県】富士山/羽球友の会大井川Jr/御殿場ジュニア/岩松ジュニア/どんぐりジュニア/伊東ワールド(2口)/広幡バドキッズ/SBCスクール(3口)/富士中央/沼津ジュニア/島田六合ジュニア/SWACジュニア/西豊田ジュニア 【愛知県】石ヶ瀬スポ少/北山東山ファミリー/ウイスタリアジュニア(2口)/愛知県小学生連盟/永井与志夫(1万円)/アドバンスジュニア/日進ジュニア/TOYOKAWA Jr/くすの木少年団/にこにこ北城/犬山ドリームズスポ少/名古屋スポ少(1万円)/長久手ジュニア/羽っ子/T-Jump Jr/盛田幸子/水野芳彦/たんぼぼ/doragonfly 【三重県】高橋克彦/有緝スポ少/登俊生/笹川ジュニアスポ少/森下さと子/誠之スポ少/三重県協会小学生連盟/濱口昌大/田中良弘/高茶屋スポ少/梅本洋平/小俣町スポ少/南が丘スポ少/磯部スポ少(2口)/川越町スポ少/明生Jr/勢和ジュニア/南島スポ少/濱地賢/ときわジュニア/玉城スクール/二見スポ少/東員スポ少/長太ジュニア/林大輔/奥田香 【岐阜県】尾藤宏治(5口)/大垣静里少年団/尾藤英邦(3口)/三浦公雄(3口)/尾藤伸治(3口)/大野ジュニアスポ少/多治見ジュニア/岐南クラブ/大垣北BSS(3口)/池田町少年団/神戸町少年団/大垣東スポ少/羽島市スポ少/大垣中川少年団/大垣安井少年団/垂井JSC/Kojima BC(5口)/びとう会/渡邊美知成(5口)/福永正弘(1万円)/高井政己/川島ジュニア 【京都府】坪内正一(2口)/小泉和子/小國俊之(5口)/大前茂(2口)/田中田鶴子/ビーウエイ株式会社/柴田美子 【大阪府】田原スマッシュ 【広島県】広島県小学生連盟(3口) 【山口県】柳井JBC 【香川県】香川スクール/中央スポ少/綾川スピリッツJBC/白浜義次/三豊ジュニア少年団/飯野スポ少/庵治フレッシュJr/中部Jrスポ少/木太南スポ少/花園ジュニア/志度ジュニア/三本松ジュニア/国分寺スポ少/丸亀南ジュニアスポ少/弦打スポ少/屋島スポ少/丸亀ハートJBC/前田スクール/白鳥Jr/はと村 【徳島県】藍住エンジェルススポ少/内町ジュニア/助任ジュニア/小松島ジュニア/林崎ジュニア/北島Bambi/福島ラビット/加茂名ジュニア/八万ジュニアスクール/穴喰ジュニア/富田ジュニア 【愛媛県】愛媛県小学生連盟(12口)/コウザトJBC/JBFフナキ 【福岡県】福岡県小学生連盟(3口) 【佐賀県】佐賀サンライズ(2口)/鳥栖キラリ/多久スポーツピア/七山モンキーズ/玄海ジュニア/山内ジュニア/北方ジュニア/まさしまジュニア/基山Jr/東部BC 【沖縄県】沖縄県小学生連盟(10口) (合計279口)

※令和元年度も引き続き「賛助会員(1口3,000円)」を募集しています。賛助会の申込み及び会費の振込みは下記へお願いします。

【新規の場合「申込書」送付先】 〒503-0982 岐阜県大垣市久徳町339 福永正弘 宛

【会費の振込先】 継続・新規とも下記の口座へお願いします。

郵便振替口座 「00870-3-88151 日本小学生バドミントン連盟」

- \* 通信欄にクラブ名・代表者名あるいは個人氏名をご記入ください。
- \* 赤色の振込用紙にご記入の上、できるだけ郵便局の振込機械をご利用ください。

### 日本小学生バドミントン連盟 令和元・2年度役員 (令和元年5月25日現在)

名誉会長：靱井勝人

会長：黒川 茂

副会長：北山吉明 尾藤宏治

理事長：能登則男

副理事長：小國俊之 吉川和孝 中口直人 白浜義次

常任理事：上田敏之 下野和義

伊藤 薫(北信越) 藤本 伸(四国)

理事

熊谷敏夫(北海道) 遠藤宏一(東北)

佐倉和明(関東) 永井与志夫(東海)

松村宏則(近畿) 山下新一(中国)

吉浦健二郎(九州) 三古 剛(若葉)

福永正弘(会計)



### 日本小学生バドミントン連盟 事務局

〒068-0025 北海道岩見沢市5条西13丁目20番地 下野和義 気付

TEL: 0126-25-0089 FAX: 0126-25-4710

http://www.syoubad.jp E-mail: shimono@syoubad.jp